

骨粗しょう症①



榎井俊英 医師

です。今回はその概要について解説します。

■骨粗しょう症とは？

骨粗しょう症を簡単に言うと、「骨強度の低下によって骨折しやすくなった状態」といいます。一般的に、

やせて活動的な女性ほど骨粗しょう症のリスクが高く、太っている人は逆にリスクが低いといわれています。

（E）で算出されます。「骨質」とは、言葉の質をいいます。骨密度がそれほど低くなくとも骨折する場合があります。

■骨粗しょう症の原因は何ですか？

骨の新陳代謝のバランスが崩れたことによるものです。

■骨粗しょう症の患者さんは多いですか？

日本では、総人口の約10%にあたる1280万人（男性300万人、女性980万人）が骨粗しょう症の患者さん（受診していない人も含んだ数字）と言われています。

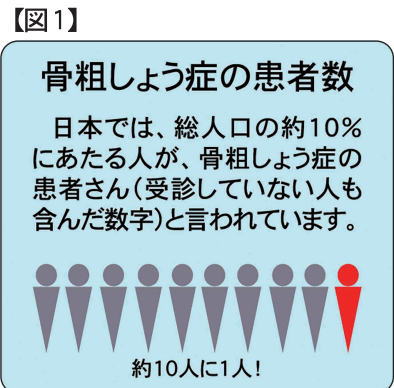
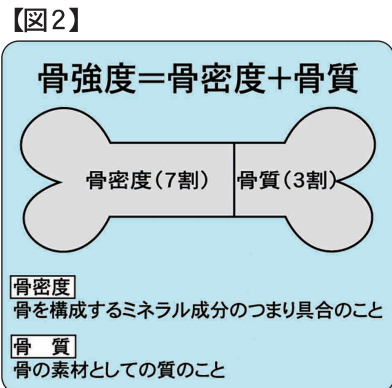
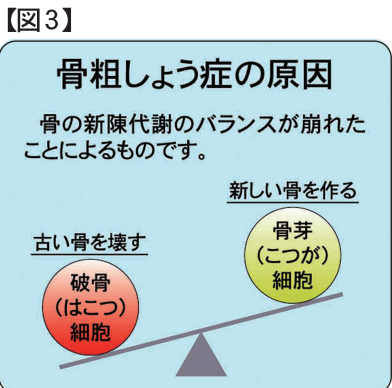
骨粗しょう症は、骨折やそれにもなうまざまな障害を防ぐために、早期発見・早期治療がとて大事な病気です。

■骨粗しょう症の患者さんは多いですか？

日本では、総人口の約10%にあたる1280万人（男性300万人、女性980万人）が骨粗しょう症の患者さん（受診していない人も含んだ数字）と言われています。

■骨粗しょう症の原因は何ですか？

骨の新陳代謝のバランスが崩れたことによるものです。



■骨粗しょう症とは何ですか？

「骨強度」とは骨の強さのことです。「骨強度」は骨密度(7割) + 骨質(3割)と言われています。

「骨密度」とは、骨を構成するカルシウムなどのミネラル成分のつまり具合のことをいいます。一般に骨粗しょう症検査は骨密度を測定することが多く、骨密度は骨の単位面積(Cm)当たりの骨塩量

■骨粗しょう症はどんな症状ですか？

骨粗しょう症になっても、最初のうちは自覚症状が現れにくいですが、気がかないうちに骨が弱くなって骨折しやすくなり、圧迫骨折(体の重みだけで骨が潰れてしまう)が起こるなどありますが、これでも痛みを感じない場合があります。やがて、背中が曲がり、身長が縮む、背中・腰などの痛み、ちよつと転んだだけで骨折するなどの自

■骨粗しょう症の原因は何ですか？

骨の新陳代謝のバランスが崩れたことによるものです。

■骨粗しょう症の患者さんは多いですか？

日本では、総人口の約10%にあたる1280万人（男性300万人、女性980万人）が骨粗しょう症の患者さん（受診していない人も含んだ数字）と言われています。

（榎川病院（広島市西区天満町）内科 榎井俊英 医師）

http://www.shet.ac.uk/FRAX/tool.jsp?lang=jp

気及びその治療薬などのさまざまな要因が関係しています。

参考までに、WHO

（世界保健機関：すべての人々が可能な最高の健康水準に到達することを目的とした国連機関）が、今後10年間の骨折リスクを評価する方法として、12個のチェック項目で構成されたFRAXという質問票を開発しています。

自分でチェック項目を入力すれば将来の骨折リスクを算出できる質問票ですが、骨粗しょう症の有無を判断するのではなく、どれくらいの骨折リスクを持っているかを知るヒントとして活用されるものです。興味のある方は、インターネットで「FRAX」と検索すると出てきます

【図4】。参考URL

http://www.shet.ac.uk/FRAX/tool.jsp?lang=jp

【図3】。人

間の骨は絶えず作り替

えられています。具体的には、「破骨(はこつ)細胞」が古くなつた骨を壊していき、「骨芽細胞」が新しい骨を作っていきます

が、若いうちは骨芽細胞の働きが勝り、骨の量は増えていきます

しかしし年を取ってくる

と、骨芽細胞の働きが

破骨細胞を下回り、骨

の量が減少します。

この新陳代謝のバランスが崩れる原因は多

数あり、閉経による女性ホルモンの変化や栄養バランスの悪化、加齢、運動不足、他の病

【図4】。参考URL

http://www.shet.ac.uk/FRAX/tool.jsp?lang=jp

【図3】。人

間の骨は絶えず作り替

えられています。具体的には、「破骨(はこつ)細胞」が古くなつた骨を壊していき、「骨芽細胞」が新しい骨を作っていきます

が、若いうちは骨芽細胞の働きが勝り、骨の量は増えていきます

しかしし年を取ってくる

と、骨芽細胞の働きが

破骨細胞を下回り、骨

の量が減少します。

この新陳代謝のバランスが崩れる原因は多

数あり、閉経による女性ホルモンの変化や栄養

バランスの悪化、加齢、運動不足、他の病

【図4】。参考URL

http://www.shet.ac.uk/FRAX/tool.jsp?lang=jp

【図3】。人

間の骨は絶えず作り替

えられています。具体的には、「破骨(はこつ)細胞」が古くなつた骨を壊していき、「骨芽細胞」が新しい骨を作っていきます

が、若いうちは骨芽細胞の働きが勝り、骨の量は増えていきます

しかしし年を取ってくる

と、骨芽細胞の働きが

破骨細胞を下回り、骨

の量が減少します。

この新陳代謝のバランスが崩れる原因は多

数あり、閉経による女性ホルモンの変化や栄養

バランスの悪化、加齢、運動不足、他の病

【図4】。参考URL

http://www.shet.ac.uk/FRAX/tool.jsp?lang=jp

【図3】。人

間の骨は絶えず作り替

えられています。具体的には、「破骨(はこつ)細胞」が古くなつた骨を壊していき、「骨芽細胞」が新しい骨を作っていきます

が、若いうちは骨芽細胞の働きが勝り、骨の量は増えていきます

しかしし年を取ってくる

と、骨芽細胞の働きが

破骨細胞を下回り、骨

の量が減少します。

この新陳代謝のバランスが崩れる原因は多

数あり、閉経による女性ホルモンの変化や栄養

バランスの悪化、加齢、運動不足、他の病

【図4】。参考URL

http://www.shet.ac.uk/FRAX/tool.jsp?lang=jp

【図3】。人

間の骨は絶えず作り替

えられています。具体的には、「破骨(はこつ)細胞」が古くなつた骨を壊していき、「骨芽細胞」が新しい骨を作っていきます

が、若いうちは骨芽細胞の働きが勝り、骨の量は増えていきます

しかしし年を取ってくる

と、骨芽細胞の働きが